

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

開催日時： 令和7年11月1日（土） 15：00～

開催場所： グループホーム はぴえふ

1. 管理者挨拶

地域連携推進会議について地域と事業所が連携することにより、利用者と地域の方との連携作り、サービスの透明性・質の確保や利用者の権利擁護を推進することを目的としております。今年度から義務化になった厚生労働省が示すこの会議に委員就任及び会議参加に感謝します。施設の透明性担保のためにも大切であり、施設内訪問も年1回はお願いしますが、忌憚のない意見をお願いし、より良い地域に信頼される施設づくりにしていきたいと思っています。

2. 出席者紹介

利用者	4名
利用者家族代表	1名
石井町大島自治会長	1名
石井地区民生委員・児童委員	1名
福祉に知見のある方社会福祉法人善光会評議員	1名
はぴえふ管理者	1名
はぴえふ支援員	1名

参加者紹介の後、別紙次第に沿って管理者が説明を行った。

主な説明内容は以下の通り

3. 議題

～1. 施設の現状について

- 1) サービスの透明性・質の確保
 - ・利用者の生活や普段の様子について
 - ・運営状況について
 - ・災害時の対応 BCP（業務継続計画）の策定状況について

- 2) 利用者の権利擁護

- ・虐待防止について
- ・支援者への研修や関わりの様子について
- ・利用者の希望や意向について
- ・利用者への情報保障や選択肢の確保、権利擁護についての自由な意見交換

- 3) 防災対策

BCPの計画の作成及び防災計画に沿った避難訓練等の定期的な実施。

～2. 地域との協働による支援体制づくり

- ・地域の非常災害時の取り組みについて（地域の避難訓練）
 - ・地域のボランティアとの連携について
 - ・地域行事や地域の役割への参加
 - ・ハザードマップによる避難について
- 洪水が発生した場合、浸水が想定される区域に指定されている。
- ・石井地区での活動について、梵天祭りなどがある。

～3．意見交換

○石井地区大島自治会長

- 1) 自治会の年間行事について説明がありました。
- 2) 「指定緊急避難場所」及び「指定避難所」場所について

石井小学校、石井地域コミュニティセンターになっているが鬼怒川の橋を渡って避難するのは危険。そのため、台風の時、清原中学校へ避難したが、トイレが1階のため使い勝手が悪かった。また、宇都宮市へ飛山城跡へ避難できるように交渉し認可されたことの報告を受けた。

石井地区防災検討会にて、地域のマップを作成する予定になっている。

○石井地区民生委員・児童委員

- 1) 石井地区には、65歳以上の独居老人・夫婦が多くなってきている。
- 2) 地域住民の身近な相談相手として、高齢者の見守りや生活困窮者への支援などをしている。地域住民の生活状況を把握し、相談に応じて助言や情報提供を行い、福祉サービスへの「つなぎ役」として、行政や社会福祉関係機関と連携し、支援が必要な人々をサポートしています。

○利用者家族

- 1) 不審者が入ってきた時の防犯対策対応について
夜間1人体制、防犯カメラ・ブザーなどの設置があると良いのではないか。
- 2) 下駄箱が少ない。
→下駄箱収納が少ないので増やします。

○利用者

- 1) 居室の換気口から時々トイレ臭がある。お風呂の換気扇の外から匂うときもある。
ずっとではない。
→施工業者へ点検を依頼する。

4．施設見学

5. ピアノ演奏 「糸」 中島みゆき 演奏者 利用者

6. 閉会

本日はお忙しいところ貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。
本日いただいたご意見をもとに、今後グループホーム利用者の方が地域の一員としてこの地で安心して生活していくように、私たちも努力してまいります。